

小学部



ピンポン玉のブットイン

効果

- ・ピンポン玉に切り込みを入れ、鈴を入れることで児童の興味を引く。

使い方

- ・ピンポン玉を一つずつ取り、プラスチックの箱の入り口に置き、片手または両手で押し入れる。



プラステン

効果

- ・手と目の供応
- ・見本を見て同じようにする練習

使い方

- ・棒に通す。
- ・一つの棒に見本を作ったり、写真電本を提示したりして、同じ順で通させる。(紐通しも可)
- ・10 ずつあり、数の学習もできる。



課題（自立活動）

効果

- ・身近なものを静かに置くことができる。

使い方

- ・ペットボトルあ水筒に水を入れ、教材に置く（はめる）練習をする。
- ・最初は机上から。静かに置けるようになったら少し離れた場所から置けるようにする。



刺繍の練習

効果

- ・ 集中力を養う。
- ・ 糸の刺し、ひきを覚える。

使い方

- ① 枠のはしに毛糸を結ぶ
- ② 毛糸を刺す、ひくを交互に取り組む
- ③ 一人で取り組む



数字の弁別

効果

- ・ 1～5までのいろいろな数字の弁別をすることで「見る」力・集中力を高める。

使い方

- ・ 児童の実態に応じて各数の量を調節することができる。
- ・ 児童の実態に合わせて数を増やして対応することができる。



線描のための補助具

効果

- ・ 筆記具が握れない子どもでも線が描ける。

使い方

- ・ クリップに筆記具を挟み、紙の上を動かす。



位置の学習、見本合わせ

効果

- ・見本を見本として理解する。
- ・見比べる目の動きを育てる。
- ・位置「うえ、まんなか、した」
「ひだり、まんなか、みぎ」

使い方

- ・支援者が一つ置く。同じ物を1つ手渡し、同じ位置に置く。
- ・慣れてきたら、選択肢を増やし、見本と見比べてできるようにする。



寸劇で文の学習

効果

- ・具体物を動かし、具体的な状況下で、楽しく分の構成や質問等やり取りして学習できる。

使い方

- ・寸劇を見せた後、衝立で隠す。
- ・場面を想起し、「だれ」「なにを」の質問に書字をして答える。
- ・役割を交代して行う。



合成分解

効果

- ・ 具体物を操作しながら、合成、分解を学習できる。
- ・ 手のひらの中は見えないため、頭の中でイメージして考えることができる。

使い方

- ・ くっついた鉄球を1～5の筒へばらして入れる。
- ・ 外から見えない状況で教員の手の平の中に1と3（例）を取って入れる。
- ・ 「この中いくつ？」と聞いて、正解を手のひらを開いて見せる。



大小弁別

効果

- ・ 触覚や運動により物の違いを区別する。
- ・ 入る、入らないを経験することで「違い」に気づく。
- ・ 玉には方向がないので筒に入れやすく取り組みやすい。

使い方

- ・ 筒の大きさを触って確かめる。
- ・ おおきい玉から手渡し（失敗させず）弁別する。
- ・ 左右変えたり、距離を変えたりと呈示にも気を配る。
- ・ 動き、操作にことば「大きい」「小さい」をのせる。

